

千葉県立博物館の事業に係る有識者意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値 \geq 100%	4	A
ほぼ達成	目標値 \geq 80%	3	B
やや不十分	目標値 \geq 50%	2	C
不十分	目標値 $<$ 50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値 \geq 75%	4
ほぼ達成	達成値 \geq 65%	3
やや不十分	達成値 \geq 50%	2
不十分	達成値 $<$ 50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値(H28)	下段:目標値(H28)	値の説明				数値	
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	資料のデジタル化数	今年度実績	/	/	現状の職員数では手が回らず、実施できず。 収蔵庫のスペースの問題等で、積極的な受入は行っていない。		
					館設定の目標					
			2	収蔵資料の受入	今年度実績	/				
					館設定の目標					
		収蔵資料の有効活用	3	館外貸出(外部機関等展示等)	今年度実績	10件	4		A	
					要望のあった件数	10件				
			4	館内利用(学術調査等)	今年度実績	4件	4			
					要望のあった件数	4件				
			5	著作物資料への利用(出版物掲載等)	今年度実績	21件	4			
					要望のあった件数	21件				
		調査研究	6	調査事業件数	件数	今年度実績	1件		4	A
					件数	昨年度実績	1件			
7	共同調査事業件数		件数	今年度実績	/	/				
				要望のあった件数	/					
8	研究成果の公開状況		論文研究報告	今年度実績	4件	4				
				館の計画	3件					
大項目 I の総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	収蔵資料のデジタル化には、手をつけることができなかった。デジタル化には、まず資料リストの再チェックが必要で、大きな課題である。収蔵資料の有効活用は、昨年度の2倍以上の利用件数があった。									
有識者コメント										

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値(H28)	下段:目標値(H28)	値の説明	数値						
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	今年度実績	13,555人	3	B			
						昨年度実績	14,501人					
			2	企画展「江戸時代房総名所めぐり」	入館者数	今年度実績	5,107人	2				
		昨年度実績				6,874人						
		3	季節展等	入館者数	今年度実績	8,448人	4					
					昨年度実績	6,785人						
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	今年度実績		/			A	現状の職員数では、実施できず。
						昨年度実績						
			5	企画展「江戸時代房総名所めぐり」	実施回数	今年度実績	1回	4				
昨年度実績	1回											
6	季節展等	実施回数	今年度実績	3回	4							
			昨年度実績	3回								
総合的な満足度	7	博物館		今年度実績	92%	4	A					
				今年度実績	92%							
	8	企画展「江戸時代房総名所めぐり」	アンケート満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績		4						
9	季節展等	今年度実績										
大項目IIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	展示への来館者の満足度は予想以上に高かった。特に企画展「江戸時代房総名所めぐり」は、浮世絵を中心とした展示で、わかりやすく、好評であった。夏休み展示「妖怪となった動物たち」は中央博物館本館の展示をアレンジした内容であり、子供を中心に入館者数の増加に結びついた。											
有識者コメント												
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	今年度実績	63%	4	A			
						館設定の目標	60%					
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	今年度実績		/				
						館設定の目標						
大項目IIIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	入場料収入は、過去に最も収入の多かった平成23年度の額を100%として計算している。季節展は、本館で好評だった展示を分館周辺地域に還元する展示を行っている。平成28年度も同様の手法で「動物になった妖怪たち」を開催したが、入館料の増加に結びつかず、財源の確保が課題である。											
有識者コメント												

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)		値の説明	数値						
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	今年度実績	11回	2	B			
					アップ数	昨年度実績	15回					
			2	HPでの利用状況	アクセス数	今年度実績	10,975件	3				
					アクセス数	昨年度実績	11,057件					
			3	報道機関への情報発信	取材件数	今年度実績	9件	4				
						館設定の目標	2件					
		大項目IVの総合評価(A~D)									B	
		博物館コメント	ホームページアップ数やアクセス数は昨年度より減少した。しかし、報道機関への情報発信を多くすることにより、広報情報発信に努めた。									
有識者コメント												
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	今年度実績	30校	3	B			
					学校数	昨年度実績	37校					
			2		入館者数	今年度実績	1,034人	3				
					入館者数	昨年度実績	1,174人					
			3	生徒・児童	入館者数	今年度実績	1,013人	3				
						入館者数	昨年度実績				1,097人	
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	今年度実績	21校	4					
				学校数	昨年度実績	19校						
		5		利用者数	今年度実績	11,761人	4					
				利用者数	昨年度実績	11,642人						
		地域関係団体との連携	6		団体数	今年度実績	13団体	4				
					団体数	昨年度実績	6団体					
			7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	今年度実績	13回	4				
					利用回数	昨年度実績	7回					
8			利用者数	今年度実績	2,912人	2						
			利用者数	昨年度実績	4,579人							
9	友の会活動	利用人数						友の会はない。				
10	ボランティア活動	活動延人数	今年度実績					現状の職員数では手続きができないため、目標に定めず。				
			昨年度実績									
大項目Vの総合評価(A~D)							B					
博物館コメント	10~3月の予約団体専用期間中に昔のくらしと道具キットで小学校への出前展示+出前授業を1週間に1~2校程度のローテーションで行った。小学校の需要は安定的にあるが、職員数などの問題からこれ以上増やすことは難しい。											
有識者コメント	学校連携については、昨年度実績ではなく目標値を設定した方がよいのではないか。											

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)		値の説明	数値				
VI	教育・普及活動	来館状況	1	水郷の自然と歴史(6回)	参加者数	今年度実績	76人	1	D	
					参加者数	昨年度実績	209人			
			2	講座	参加者数	今年度実績				
					参加者数	今年度実績				
			3	講座	参加者数	今年度実績				
					参加者数	今年度実績				
			4	体験教室	気分は平安貴族など	参加者数	今年度実績	257人		2
						参加者数	昨年度実績	338人		
		5	体験教室	気分は平安貴族など	参加者数	今年度実績				
					参加者数	昨年度実績				
		6	体験教室	気分は平安貴族など	参加者数	今年度実績				
					参加者数	昨年度実績				
		7	昭和の名車大集合など	参加者数	今年度実績	2,965人	3	B	プレ展示と当日参加者	
					昨年度実績	3,091人				
		8	昭和の名車大集合など	参加者数	今年度実績					
					昨年度実績					
		9-16	総合的な満足度	9	水郷の自然と歴史(6回)	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績	%		
今年度実績	%									
10	講座			満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績	%				
					今年度実績	%				
11	講座			満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績	%				
					今年度実績	%				
12	体験教室			気分は平安貴族など	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績	%			
						今年度実績	%			
13	体験教室	気分は平安貴族など	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績	%					
				今年度実績	%					
14	体験教室	気分は平安貴族など	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績	%					
				今年度実績	%					
15	体験教室	気分は平安貴族など	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績	%					
				今年度実績	%					
16	体験教室	気分は平安貴族など	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績	%					
				今年度実績	%					
17	利用状況	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	今年度実績	80	4	A			
			利用件数	昨年度実績	80					
大項目VIの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	講座や体験教室受講者数については伸び悩んでいる。行事内容が変わっていないことが影響していると思われるが、新たな事業を立ち上げる労力など難しい面がある。アンケートについては、内容が小さい子供達でも簡単にできるようなものが多いことから、特に1人ずつへのアンケートなどは行っていない。「有意義だった」「楽しかった」との声が多かった。「昭和の名車大集合」は5回目となり、定着した感がある。									
有識者コメント										
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	今年度実績	人		A		
					今年度実績	人				
					今年度実績	人				
					今年度実績	人				
		2	教員等の研修	今年度実績	人					
				今年度実績	人					
3	職場体験	今年度実績	人							
		今年度実績	人							
4	インターンシップ	今年度実績	人							
		今年度実績	人							
5	安全管理	研修会の開催	実施回数	今年度実績	1回	4				
			実施回数	昨年度実績	1回					
6	安全管理	防災訓練実施等	実施回数	今年度実績	1回	4				
			実施回数	昨年度実績	1回					
大項目VIIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	実習・研修については配置職員の数では対応ができないため、受け入れを行っていない。安全管理の研修などは行っている。									
有識者コメント										

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値(H28)	下段:目標値(H28)	値の説明			
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	今年度実績	7団体	2	C
					昨年度実績	13団体		
			2	外国人来館入込	今年度実績	182人	2	
					昨年度実績	305人		
			3	外国人来館入込	今年度実績		3	
					昨年度実績			
			4	外国人来館入込	今年度実績	19人		
					昨年度実績	23人		
大項目Ⅷの総合評価(A~D)						C		
博物館コメント	前年度は、茨城県側のデイケア施設や養護施設などからの来訪があったが、今年度は多くはなかった。観光とは異なるが、今後博物館に求められる役割の一つと思われる。							
有識者コメント								
総合評価(A~D) [各達成度の平均]						B		
総合評価と次年度への対策	大利根分館の来館者は、隣接する香取市のあやめ祭りの時期に集中しており、両施設を併せて見学される方が多い。旧水生植物園は東日本大震災後に一部施設が破損し、平成28年度はあやめの時期以外は閉鎖して大規模な改修工事中であった。平成29年度6月に水郷佐原あやめパークと改称し、体験棟を含めて全面リニューアルオープンするため、連携した事業展開が可能となる。また、平成29年度は事務職員等が増員となり、5名体制となった。これらの人員増により、これまで切り詰めた人員で運営していたことから追いついていなかった収蔵資料の整理を行う予定である。資料の整備は博物館業務の根幹であり、目立たない業務ではあるが、今後の資料の利活用に資するために資料整理を優先的にを行い、その後デジタル化や展示への利活用を行っていききたい。							

【博物館評価に係る有識者意見】

評価項目全体に係る意見	平成29年度に水郷佐原あやめパークがリニューアルオープンして入場者が増加しているため、今後地域全体として入場者を増やす努力が必要であろう。どこでどういうプロモーションをするかが大切である。地域連携や学校連携など、利用者数の増減の理由を各館で検討するべきであろう。博物館の存在価値を高めるためには入場者数を増やすことが大切で、茨城県も含めた利用者増につながる事業展開を考えてほしい。
-------------	--

【博物館記入】

意見への対応	有識者の意見を受けて、地域全体として入館者を増やす事業として、近隣の水の郷さわらと連携して当館の古写真を中心とした水郷を紹介する写真展を行い、当館への誘致を促す。また、隣接する水郷佐原あやめパークと連携して、凧作りと凧揚げを行うことを計画している。川のフィールドミュージアムでは、近隣の水郷地域を紹介する地図を作成し、周辺を周遊するコースを策定する予定である。このようなプロモーションが利用者の増加に繋がるものなのかどうかを検証しながら、今後の事業展開につなげていきたい。
--------	--